

これまでの懇談会でいただいた意見の概要

資料No. 1

	意見
議論の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・将来人口については、新長岡版総合戦略に掲げる目標を達成しない場合でも、行財政運営が持続可能となるよう、今回の検討や公共施設のあり方については、厳しく現実的な数値に沿うべき ・行政サービスについては、低下させるのではなく、効率化することで財政負担を軽減していくことを議論する。 ・職員数についても同様に、単に削減すればいいということではなく、人口あたりの規模など、適正な人数を維持することを基本に議論する。 ・個別事業の仕分け作業を行うことはせず、K P I（重要業績評価指標）等の観点を踏まえ、あり方や方向性について議論する。
財政運営に関する基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・財政調整基金については、財政収支見通しの資料にある35億円を維持するだけでなく、災害などを考慮すれば、長期的にはさらに積み増しも必要 ・厳しい財政状況をしのぐには「ふるさと創生基金」等も有効活用を検討すべき ・財政収支見通しの歳入歳出が大きく変動している要因や収支改善に向けて具体的にどういったことを想定しているのか示してもらいたい。 ・財政指標は現時点で大きな問題は見られないが、一般的には「甘い計画、ずさんな投資・運営、災害」が財政悪化の3大要因だと思っており、災害以外の2つについては厳格に見ながら、財政指標が健全に保てるようにしていただきたい。
新しい技術や発想による変革 (イノベーション)	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい技術の活用に関しては、手段を決める前に、業務上の課題の分析や生産性向上の目標設定を行うことが重要 ・先端技術の導入・活用は、既存の事務作業に当てはめるようシステムを改造するのではなく、こだわりを捨て従前の事務作業をシステムに寄せるよう変革していくことが、効果を発揮する上で重要 ・イノベーション施策も費用と効果が分かるようにすべき ・長岡版イノベーションの定義や目的を明確にし、どのように進めるかロードマップを示すことが必要 ・ツールに主眼を置くのではなく、課題を掘り下げていくことが重要。また、新しい取組を行う際には、高齢化への対応も一緒に考える必要がある。

これまでの懇談会でいただいた意見の概要

資料No. 1

<p>組織・定員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な住民ニーズを予測して柔軟に対応できる組織体制が望ましい。 ・定員管理上は職員の年齢構成にも留意が必要 ・外部から見た場合に各部課で業務が重複している印象があり、また、部課数が増えると従事者も仕事も無駄が生じやすいと一般的にも言われている。今後、職員数や人件費の状況も含め確認を行う必要がある。 ・職員の能力等に関しては、今後の職員に必要な能力や技能などを整理して、必要な能力等のある人を採用し、育成していく必要がある。 ・先の台風第19号の対応でも明らかなように、市職員だけでは対応には限界があるので、自助や共助と組み合わせることで地域を守ることが重要 ・市民や企業等を単に利用するのではなく、一緒に地域課題を解決していくという「協働」という姿勢が行政側には重要
<p>使用料・手数料等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・無料の施設・サービスなどにも市民の税金が使われていることを踏まえれば、市外の利用者から応分の負担を求めることなども検討すべき ・利用状況・稼働率や所要経費を明示し、「行政サービスにお金がかかっている」ということを市民から理解していただくことが必要（サービスに対してある程度負担するといった受益者負担の啓発が必要） ・民間でも供給や実施が十分に可能な事業等を、行政が税金を使ってまで行うことは、民業圧迫にもつながるので、こうしたことの検討も重要

これまでの懇談会でいただいた意見の概要

資料No. 1

<p>公共施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長岡市は公共施設が多い印象があり、市民一人あたり面積も新潟市より多く、現状の質を将来維持できないことは明らかなため、統合や廃止にも踏み込んで検討していくことが必要。一方で、行政は民間と異なり採算の合わない仕事も行う必要があり、赤字でも維持する必要がある施設やサービスもあるので、住民の真の要望を確認しながら見極めていくことが重要 ・市民や企業等を単に利用するのではなく、一緒に地域課題を解決していくという「協働」という姿勢が行政側には重要（再掲） ・民間でも供給や実施が十分に可能な事業等を、行政が税金を使ってまで行うことは、民業圧迫にもつながるので、こうしたことの検討も重要（再掲）
<p>人材の育成 未来への投資</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・質の高い教育を目指すことも大切だが、同時に土台となる学校現場の作業の効率化等も重要 ・米百俵プレイス（仮称）の人づくり・学び・交流エリアにおける長岡市内の大学や企業との連携が重要 ・人材育成、未来への投資いずれも、KPIを設定する必要があるのではないか。
<p>補助金・負担金</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・執行方法（交付先の決定方法）や成果検証の方法をルール化し、見直していくことが重要 ・KPIを設定する必要があるのではないか。（再掲）